

リスク評価技術の制度の連携を通じたリスクガバナンス

A1-1 リスク評価技術と制度の連携を通じたリスク評価の展開

○小島直也¹⁾, 薛面強¹⁾, 周靚¹⁾, 町村尚¹⁾, 杉之尾大介²⁾, 戎谷舞子¹⁾, 東海明宏¹⁾

1) 大阪大学大学院工学研究科 2) 大阪大学工学部

A1-2 家庭におけるマテリアルフロー・ストック由来化学物質のリスク評価

○薛面強¹⁾, 周靚¹⁾, 小島直也¹⁾, 町村尚¹⁾, 杉之尾大介²⁾, 東海明宏¹⁾

1) 大阪大学大学院工学研究科 2) 大阪大学工学部

A1-3 リスク評価における相互依存性解析プロトタイプモデルを用いた冷媒・空調機器に関する政策評価

○町村尚¹⁾, 薛面強¹⁾, 小島直也¹⁾, 戎谷舞子¹⁾, 東海明宏¹⁾

1) 大阪大学大学院工学研究科

A1-4 SOMによる化学物質の分類結果から見た事例研究の位置づけ・意義に関する考察

○周靚¹⁾, 東海明宏¹⁾

1) 大阪大学大学院工学研究科

A1-5 制度連携を含むリスクガバナンス手法の検討:都市計画法と化審法の連携に関するケーススタディ

○杉之尾大介¹⁾, 町村尚²⁾, 小島直也²⁾, 東海明宏²⁾

1) 大阪大学工学部 2) 大阪大学大学院工学研究科

一般演題-B1 ばく露評価

B1-1 室内製品暴露評価ツール(ICET)の開発

○東野晴行¹⁾, 梶原秀夫¹⁾

1) 国立研究開発法人産業技術総合研究所

B1-2 室内製品暴露評価ツール(ICET)を用いた製品事故に対する暴露評価ケーススタディ

○梶原秀夫¹⁾, 東野晴行¹⁾

1) 国立研究開発法人産業技術総合研究所

B1-3 複数・複雑組成の化学物質への暴露を考慮したリスク評価手法の開発に向けて

○頭士泰之¹⁾, 山取由樹¹⁾, 永田淳²⁾, 加茂将史¹⁾, 恒見清孝¹⁾

1) 国立研究開発法人産業技術総合研究所

2) 島津製作所 グローバルアプリケーション開発センター

B1-4 火葬炉施設労働者における粒子状物質の曝露評価

○松井康人¹⁾, 加藤伸之²⁾, 高岡昌輝³⁾, 米田稔³⁾

1) 京都大学安全科学センター

2) 労働安全衛生総合研究所

3) 京都大学大学院工学研究科

一般演題-C1 リスコミ・リスク認知

11月26日(土) 9:10-10:30 C会場

座長 竹下広宣(名古屋大学)

C1-1 NHK テレビ・ドキュメンタリー番組が描いた公害病・健康危機 ～リスクコミュニケーションとしての患者の語り～

○加藤美生¹⁾, 大野直子²⁾, 石川ひろの¹⁾, 奥原 剛¹⁾, 岡田 昌史¹⁾,

木内貴弘¹⁾

1) 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学

2) 順天堂大学国際教養学部異文化コミュニケーション領域

C1-2 手続き的公正と金銭補償の提示が指定廃棄物長期管理施設受容に及ぼす影響

○大沼 進¹⁾, 広瀬幸雄²⁾, 大友章司³⁾

1) 北海道大学

2) 関西大学 3) 甲南女子大学

C1-3 リスクトレードオフと ELSI: 価値の不確実性にどのように取り組むべきか

○加納寛之

大阪大学大学院人間科学研究科

C1-4 情報源に対する信頼度の変化～アンケート調査の結果から

○佐野和美

国立研究開発法人国立環境研究所

企画セッション-A2

11月26日(土) 10:40-12:00 A会場

座長 藤井健吉(花王安全性科学研究所), 平井祐介(経済産業省資源エネルギー庁)

化学物質のリスク評価・管理における多面的な役割 - 新たなリスク研究の方向性と可能性 -

A2-1 化学物質のリスク評価・管理における多面的な役割 ～本セッションのねらい

○藤井健吉¹⁾, 平井祐介²⁾

1) 花王安全性科学研究所 2) 経済産業省資源エネルギー庁

A2-2 化学物質管理規制のリフォーム ～TSCA 改め The Frank R. Leutenberg

Chemical Safety for the 21st Century Act の特徴

○赤渕芳宏

名古屋大学情報文化学部

A2-3 事業者の SAICM(国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ)推進活動におけるリスク評価

○ 本多泰揮¹⁾, 西岡 亨¹⁾, 亀山明代¹⁾, 舞原文女¹⁾, 佐々友章¹⁾, 山根雅之¹⁾, 藤井健吉¹⁾, 森田 修¹⁾

1) 花王安全性科学研究所

A2-4 化学物質管理におけるリスク評価と管理措置オプション

○井上知也

みずほ情報総研

一般演題-B1 リスク分析・管理

11月26日(土) 10:30-11:50 B会場

座長 松井康人(京都大学)

B2-1 地震に伴う PRTR 対象物質の流出による浄水場機能への影響評価:危険時専用の水道水質基準に対する考察

○中久保豊彦¹⁾, 多田悠人²⁾, 東海明宏²⁾

1) お茶の水大学基幹研究院自然科学系 2) 大阪大学大学院工学研究科

B2-2 遼寧省本溪市における PM2.5 削減策「青空工事 2015」の費用便益分析

○宮 一平¹⁾, 加藤尊秋²⁾

1) 北九州市立大学大学院 2) 北九州市立大学国際環境工学部

B2-3 騒音曝露と虚血性心疾患の関連に関する研究 - 東京都葛飾区の高齢者を対象とした疫学調査 -

○岸川洋紀¹⁾, 小池 博²⁾, 堺 温哉²⁾, 森川多津子²⁾, 富田幸佳²⁾, 伊藤晃佳²⁾, 伊藤 剛²⁾, 中井里史³⁾, 小野雅司⁴⁾, 東 賢一⁵⁾, 内山巖雄⁶⁾

1) 武庫川女子大学 2) 日本自動車研究所 3) 横浜国立大学 4) 国立環境研究所 5) 近畿大学 6) 京都大学

B2-4 災害時の環境調査における対象化学物質の選定方法の検討

○小山陽介¹⁾, 鈴木規之¹⁾

1) 国立環境研究所

企画セッション-C2

11月26日(土) 10:30-11:50 C会場

座長 前田恭伸(静岡大学)

リスクマネジメントの実務

C2-1 公的機関が作成したリスクコミュニケーションマニュアル・ガイドにおける住民の位置付けについて

○竹田宣人¹⁾, 松永陽子²⁾

1) (独)製品評価技術基盤機構化学物質管理センター

2) 日本エヌ・ユー・エス株式会社 環境調和ユニット

C2-2 熊本地震関連新聞記事から見る被災地状況の時系列変化

○井口雄亮¹⁾，前田恭伸²⁾

1) 浜松市危機管理課 2) 静岡大学

C2-3 大規模災害時のための乳幼児用防災パックの開発

○原田博子¹⁾，前田恭伸²⁾

1) NPO 法人はままつ子育てネットワークぴっぴ 2) 静岡大学

C2-4 企業におけるリスクマネジメント活動事例(その2)

○吉沢啓一

新明和工業(株) 日本リスクマネジャネットワーク

大会セッション-A3-パネル討論

11月26日(土) 13:00-15:00 A会場

座長 関澤 純(NPO 法人食品保健科学情報交流協議会)

リスク報道におけるメディアと専門家との連携のあり方

パネリスト

高橋真理子 朝日新聞科学コーディネーター

井上能行 東京新聞論説委員

小島正美 毎日新聞編集委員

滝順一 日経新聞編集委員

新山陽子 日本リスク研究学会会員, 京都大学大学院農学研究科教授, 元本学会長

理事会セッション-A4

11月26日(土) 15:10-15:40 A会場

責任者 前田恭伸

学会を取り巻く課題に関する報告

International Session-A5

11月26日(土) 15:45-17:05 A会場

責任者 前田恭伸

For promoting the collaboration of risk research in East Asia

Speakers

Dong-Chun Shin (Yonsei University)

Kuen-Yuh Wu (Taiwan University)

Shoji Tsuchida (Kansai University)

Commentator

Akihiro Tokai (Osaka University)

Chair

Yasunobu Maeda (Shizuoka University)

リスク用語 TG: 岸本充生(東京大学)
リスク教育 TG: 金澤信浩(秋田県立大学)
リスクコミュニケーション: 竹田宣人(横浜国立大学)
レギュラトリーサイエンス TG: 永井孝志(農研機構)

ポスターセッション

11月26日(土) 17:10-18:20 ポスター会場

- P-1 **NBT利用農作物の受容を規定する心理モデル**
○田中 豊¹⁾, 笹川由紀²⁾, 佐々義子²⁾
1) 大阪学院大学 2) NPO法人くらしとバイオプラザ 21
- P-2 **原発災害が宮城県の母子に与えた心理的影響**
○吉田浩子¹⁾, 筒井雄二²⁾, 高谷理恵子²⁾
1) 東北大学
2) 福島大学災害心理研究所
- P-3 **DNA 解析技術を用いた住宅のリスク評価手法の開発**
○金澤伸浩¹⁾, 河原彩香¹⁾, 長谷川兼一¹⁾, 藤 晋一²⁾, 福島 淳²⁾, 岡野桂樹²⁾
1) 秋田県立大学システム科学技術学部
2) 秋田県立大学バイオテクノロジーセンター
- P-4 **子供用玩具中重金属のリスク判別手法の検討**
○松井大¹⁾, 藤森崇¹⁾, Siwatt Pongpiachan²⁾
1) 京都大学
2) タイ国立発展行政大学院
- P-5 **ウランバートル市におけるモータリゼーションが及ぼす遊牧家畜への健康リスク**
○内藤博敬¹⁾, 戸敷浩介²⁾, 劉 庭秀³⁾, エルデネダライ³⁾, ブヤントグトク⁴⁾, ジャバザンドルゴル⁴⁾, ボロルチュラン⁴⁾, 谷幸則¹⁾
1) 静岡県立大学 2) 宮崎大学 3) 東北大学 4) モンゴル獣医学研究所
- P-6 **リスク評価の不確実性開示が信頼に及ぼす影響**
○中谷内一也¹⁾, Johnson Branden²⁾, 瀬瀬一起³⁾
1) 同志社大学心理学部 2) Decision Research 3) 東京大学地震研究所
- P-7 **信頼と手続き的公正感が原子力発電所再稼働需要に及ぼす影響の変化 - 精緻化見込みモデルの観点から -**
○山口文恵¹⁾, 坂田桐子¹⁾
1) 広島大学

- P-8 多様性が失われることのリスク - 絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存法改正を事例に -
○吉田悦子¹⁾, 影本 浩²⁾, 阿久津好明³⁾
1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科 博士課程
2) 長崎総合科学大学総合情報学部 3) 東京大学大学院新領域創成科学研究科
- P-9 感情ヒューリスティックに基づくリスク認知 ニューメラシーと批判的思考態度による抑制効果
○伊川美保¹⁾, 楠見 孝¹⁾
1) 京都大学大学院教育学研究科
- P-10 室内製品暴露評価ツール(ICET)を用いた日常生活における暴露評価 - 難燃剤を事例として -
○頭士泰之¹⁾, 山取由樹¹⁾, 恒見清孝¹⁾, 梶原秀夫¹⁾, 東野晴行¹⁾
1) 産業技術総合研究所安全科学研究部門
- P-11 首都圏在勤女性の防災行動に関する研究 ①東日本大震災の経験から
○小林麻衣子¹⁾, 市川宏雄²⁾
1) 明治大学危機管理研究センター 2) 明治大学危機管理研究センター
- P-12 首都圏在勤女性の防災行動に関する研究 ②帰宅困難経験とその後の防災対策
○小林麻衣子¹⁾, 市川宏雄²⁾
1) 明治大学危機管理研究センター 2) 明治大学危機管理研究センター
- P-13 仮想都市における新製品普及のマテリアルフロー・ストックに由来する化学物質のリスク評価方法の検討
○轟 晃成¹⁾, 東海明宏¹⁾, 小島直也¹⁾
1) 大阪大学大学院工学研究科
- P-14 炭素安定同位体比を用いたマラソン乳剤の異同識別
○川島洋人¹⁾, 須藤菜那^{1),2)}
1) 秋田県立大学 2) (現在の所属) 日本自動車研究所
- P-15 補償の交換フレームが忌避施設の受容に及ぼす効果
○飯野麻里¹⁾, 大沼 進¹⁾
1) 北海道大学
- P-16 樹脂製品からの規制化学物質の経皮・吸入暴露量評価手法の検討
○竹沢弘輝¹⁾, 坂田 雅一²⁾, 川上哲司¹⁾
1) パナソニック株式会社 品質・環境本部
2) パナソニック株式会社 プロダクト解析センター
- P-17 原子力関連専攻学生のリスク受容度について
○渡邊優香
九州大学

- P-18 原子力発電の受容における原子力関連施設就労者と大学生との比較
○岡部康成¹⁾, 王 晋民²⁾
1) 帯広畜産大学 2) 千葉科学大学
- P-19 福島県の水環境における現状の課題認識と傾向
○鈴木 聡¹⁾, 錦織達啓¹⁾
1) 福島県環境創造センター
- P-20 DALYsを用いたリスク評価手法における用量反応推定に利用可能な毒性指標種類の拡大へ向けた考察
○藤岡勝之¹⁾, 東海明宏²⁾, 小島直也²⁾
1) 大阪大学工学部 2) 大阪大学大学院工学研究科
- P-21 蛍光灯を比較対象としたLED導入によるヒト健康リスクの評価 その2
○吉増純弥¹⁾, 東海明宏¹⁾, 小島直也¹⁾
1) 大阪大学大学院工学研究科環境・エネルギー工学専攻
- P-22 ヘモグロビンタンパクを用いた付加体の同定
○高橋 蓮¹⁾, 伊藤慎二²⁾, 石原淳子³⁾, 祖父江友孝⁴⁾, 川村孝⁵⁾, 松井康人⁵⁾
1) 京都大学大学院工学研究科 2) 京都大学医学研究支援センター
3) 相模原女子大学栄養科学研究科 4) 大阪大学医学系研究科
5) 京都大学環境安全保健機構
- P-23 有害性及び排出・曝露特性に基づく優先評価化学物質分類のための主成分分析
○堀本祥平¹⁾, 東海明宏²⁾, 小島直也²⁾
1) 大阪大学工学部 2) 大阪大学大学院工学研究科
- P-24 ICP-MS 気体試料導入装置を用いた製品中ナノマテリアルに対する曝露評価法の開発
○長屋太樹¹⁾, 加藤伸之¹⁾, 西口講平²⁾, 米田稔¹⁾, 松井康人³⁾
1) 京都大学大学院工学研究科 2) 株式会社ジェイ・サイエンス・ラボ
3) 京都大学環境安全保健機構
- P-25 ステンレス溶接ヒュームの粒径別元素分析と曝露評価
○佐田谷典郎¹⁾, 加藤伸之²⁾, 塩田憲司¹⁾, 米田稔¹⁾, 松井康人³⁾
1) 京都大学大学院工学研究科 2) 労働安全衛生総合研究所
3) 京都大学安全科学センター
- P-26 地震災害時の給水停止リスクに備えた化学物質流出防止策の評価: 淀川水系を対象として
○豊田真弘¹⁾, 東海明宏²⁾, 阿小島直也²⁾
1) 大阪大学 大学院工学研究科環境エネルギー工学専攻
2) 大阪大学 大学院工学研究科

- P-27 Occupational exposure and strategy reduction of benzene in oil storage and distribution facility: case of Gabon oil storage and distribution facility
○Antoine Francis OBAME NGUEMA¹⁾, Akihiro TOKAI²⁾
1) Graduate School of Engineering Osaka University

企画セッション-A6 11月27日(日)9:00-10:20 A会場
座長 村上道夫(福島医大)、平井祐介(経済産業省資源エネルギー庁)

身近で見過ごされてきたリスク2

- A6-1 リスクのモノサシで測る身近なリスクランキング
○永井 孝志
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構・農業環境変動研究センター
- A6-2 自殺の総合的対策に向けたリスクアセスメント
○竹林由武^{1),3)}, 椿 広計¹⁾, 中島聡美²⁾, 久保田貴文³⁾
1) 統計数理研究所 2) 福島県立医科大学 3) 多摩大学
- A6-3 近年における美容・化粧品リスク顕在化の実態
○西 一総
横浜国立大学環境情報学府
- A6-4 コメンテーター
○岸本充生
東京大学公共政策大学院

一般演題-B4 リスク分析・管理 11月27日(日)9:00-10:20 B会場
座長 東海明宏(大阪大学)

- B4-1 日米欧の水素ステーションに関するリスク管理手法の比較
○小野恭子¹⁾, 恒見清孝¹⁾
1) 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 安全科学研究部門
- B4-2 水素ステーションのセキュリティリスク分析
○中山 穰¹⁾, 三宅淳巳²⁾
1) 横浜国立大学/日本学術振興会特別研究員 DC 2) 横浜国立大学
- B4-3 水素輸送システムの事故シナリオ解析
○大待達郎¹⁾, 布施正暁¹⁾
1) 広島大学大学院工学研究科社会基盤環境工学専攻
- B4-4 有機ハイドライド型水素ステーションのリスク評価枠組み構築
○ 恒見清孝¹⁾, 吉田喜久雄¹⁾, 吉田 愛¹⁾, 加藤悦子¹⁾, 川本朱美¹⁾,
木原武弘¹⁾, 佐分利禎¹⁾
1) 国立研究開発法人産業技術総合研究所安全科学研究部門

一般演題-C3 リスク認識・社会リスク

11月27日(日) 9:00-10:20 C会場

座長 神田玲子(量子科学技術研究開発機構)

C3-1 被災者生活支援相談におけるリスク評価の必要性和支援情報共有の事例

○池田真幸¹⁾, 李 泰榮¹⁾, 水井良暢¹⁾, 臼田裕一郎¹⁾

1) 国立研究開発法人防災科学技術研究所

C3-2 震災後の放射線リスクの住民の受け止め方について - 福島県伊達市住民へのインタビュー調査結果 -

○藤長愛一郎¹⁾, 村山留美子²⁾, 岸川洋紀³⁾, 内山巖雄⁴⁾

1) 大阪産業大学 2) 神戸大学 3) 武庫川女子大学

4) ルイ・パストゥール医学研究センター

C3-3 福島第一原子力発電所事故被災者を主人公とする復興の在り方と情報

○関澤 純¹⁾, 長坂俊成²⁾, 宮本聖二²⁾

1) NPO 法人食品健康科学情報交流協議会 2) 立教大学 21世紀社会デザイン研究科

C3-4 地域における鳥獣被害の社会リスク構造

○諫山憲司¹⁾, 布施正暁²⁾, 柴山慧³⁾

1) 広島国際大学 2) 広島大学工学部第四類 3) 広島商船高等専門学校

企画セッション-A7

11月27日(日) 10:30-12:00 A会場

座長 竹田宣人(横浜国立大学)

今なら温泉で泳げます∞ 温泉がリスクと向き合う時

A7-1 本セッションの趣旨

○竹田宣人
横浜国立大学

A7-2 別府温泉の地学的成因とリスク

○由佐悠紀
別府温泉地球博物館; 京都大学名誉教授

A7-3 なぜ、温泉で泳げるのか(熊本地震と対策)

○西田陽一
別府温泉 ホテル白菊 代表取締役社長

A7-4 温泉と放射線

○神田玲子
国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

- B5-1 先端科学技術を対象とした相対評価手法の構築 - 水素エネルギーシステムを事例とした試行 -**
○稗貫峻一¹⁾, 野口和彦¹⁾
1) 横浜国立大学リスク共生社会創造センター
- B5-2 新型インフルエンザの社会的リスク評価の試み**
○吉田護
長崎大学水産・環境科学総合研究科
- B5-3 子供用玩具に含まれる重金属類の誤飲リスク評価**
○藤森崇¹⁾, 松井大¹⁾, 谷口雅哉¹⁾, 高岡昌輝¹⁾, 小栗朋子²⁾
1) 京都大学 2) 名古屋市立大学
- B5-4 食品由来のアクリルアミド摂取量の統計学的推定**
○河原純子¹⁾ 今泉圭隆¹⁾, 黒田啓介¹⁾, 青木康展¹⁾, 鈴木規之¹⁾
1) 国立研究開発法人国立環境研究所環境リスク・健康研究センター

- C4-1 大気中発がん性化学物質の許容リスクレベル選択に対する例示の影響について**
○村山留美子¹⁾, 藤長愛一郎²⁾, 岸川洋紀³⁾, 内山巖雄⁴⁾
1) 神戸大学 2) 大阪産業大学 3) 武庫川女子大学
4) ルイ・パストゥール医学研究センター
- C4-2 杞憂の食品リスクに対する消費者認知バイアス**
○山崎毅¹⁾, 古川雅一²⁾, 局博一²⁾
1) 特定非営利活動法人食の安全と安心を科学する会
2) 東京大学大学院食の安全研究センター
- C4-3 仮想的な原子力発電所事故における飲食物由来の被ばく量と希釈率の推定**
○村上道夫¹⁾, 菫澤貴夫¹⁾, 吉謙隆生²⁾, 末木啓介³⁾, 笹公和³⁾, 芳村圭²⁾
1) 福島県立医科大学 2) 東京大学 3) 筑波大学
- C4-4 東京電力福島第1原子力発電所事故の学校給食における福島県産食材利用の実態と課題**
○関谷直也¹⁾, 則藤孝志²⁾, 小山良太²⁾, 中村陽人²⁾
1) 東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター 2) 福島大学経済経営学類

リスクのものさし

- A8-1 健康リスク評価から見たものさし
津金昌一郎
国立研究開発法人がん研究センター
- A8-2 環境化学物質のリスク管理から見たものさし
蒲生昌志
国立研究開発法人産業技術総合研究所
- A8-3 リスク心理から見たものさし
中谷内一也
同志社大学
- A8-4 リスクのものさしとしての確率と時間 - 人の認知の観点から -
広田すみれ
東京都市大学
- A8-5 パネル討論

- B6-1 自然災害の危険性等の地域特性と防災対策状況に応じた防災対策手法推奨についての研究
○三浦伸也¹⁾, 佐野浩彬¹⁾, 半田信之¹⁾, 田口 仁¹⁾, 臼田裕一郎¹⁾
1) 国立研究開発法人防災科学技術研究所
- B6-2 米国の TSCA 修正の全貌と日本の化学物質管理法制などの是正の必要性
○星川欣孝
ケミカルリスク研究所
- B6-3 北九州市の火災状況と地区特性に関する統計分析: 火災件数と焼損面積に着目して
○島崎健太¹⁾, 加藤尊秋²⁾
1) 北九州市立大学大学院 2) 北九州市立大学国際環境工学部

C5-1 被災地でなされた放射線影響に関するリスクコミュニケーションの評価

○吉田佳督

修文大学

C5-2 防災教育における学校と地域のリスクコミュニケーションの実践

○李 泰榮¹⁾, 池田真幸¹⁾, 増田和順¹⁾, 半田信之¹⁾, 臼田裕一郎¹⁾

1) 国立研究開発法人防災科学技術研究所

C5-3 被災地産乳需要回復に資する実効的コミュニケーション手法の開発

○竹下広宣

名古屋大学大学院生命農学研究科

表彰式

11月27日(日) 16:00-16:30 A会場
